

令和3年度事業結果報告

概要

昨年来の新型コロナウイルスが再び猛威をふるい、大阪では上半期までは第2回・第3回の緊急事態宣言が発令され、少数限定参加の定時総会開催等、我々の活動も大きく制約を受けました。しかし下半期に入ってから、感染力は強いが比較的重症化リスクが低い「オミクロン株」への移行や新型コロナワクチンの接種拡大により、感染防止の対策を実施しながらですが、センターの活動も徐々に再開できるようになりました。

昨年度に引き続きセンターの活動には大変厳しい1年間ではありましたが、第二次の中長期計画【マスタープラン】に沿った事業計画を実施し、先の第一次の中長期計画で目指したシルバー人材センター事業の成功モデル『かどまモデル』をさらに昇華させた『新・かどまモデル』実現に向けて、次の十年への初年度として事業を進めました。

この様な中、私たちがもっとも得意とする「魅せる広報活動」においては、弁天池公園の『スプリングカーニバル』・『ふれ愛感謝祭』や『ふるさと門真まつり』の開催中止や大阪マラソンのボランティア活動に参加出来なかった等、活動の自粛が目立ちましたが、8月には関係団体の協力を得て、新たな情報発信イベント『シルバー夏フェス』を開催し、設立40周年記念映画「門真市ゾンビ人材センター」を上映する等々、多くの新聞・テレビ等のマスコミに取り上げていただき、全国的に門真市シルバー人材センターの知名度の発信につなげることが出来ました。

令和3年度の当センター事業の実績は、新型コロナウイルスの影響もあり多くの業態が低迷する中、大幅な下落が懸念されておりましたが、請負事業・派遣事業ともに昨年度を若干下回る程度で終了できました。また、創意工夫事業においては、感染防止対策を試みながら、徐々に高齢者の活動できる場の提供や地域社会への貢献を目標に活動を再開させることが出来、このことが多方面からの高い評価を受けることが出来ました。

なお、本年度の活動の詳細を、以下の通り報告いたします。

【会員数を増やす】

上半期は、緊急事態宣言が頻繁に発令されるなどにより、新規入会希望者の減少が目立っておりましたが、下半期にはコロナ禍での長期巣ごもり生活からの反動や広報紙等で積極的な広告の効果が表れ、最終的には昨年度より20名を上回る新規入会をいただきました。また、入会説明会・新入会員研修会は、感染防止の三密対策を講じ、午前と午後に分けて開催する等、少人数定員制での開催といたしました。

残念ながら、退会者数は前年度より31名増加し、2期連続の会員数の減少となりましたが、主な要因といたしまして、会員の高齢化による病気・体調不良等や外出自粛による行動制限、活動自粛により、退会に至るケースが多く見受けられました。

【就業機会を拡大する】

請負事業実績については、ワークシェアやローテーション就業を進め、未就業対策を継続的に実施したことにより、受注件数及び就業率、就業実人員が前年度を上回りました。しかしながら、門真市からの新型コロナ感染対策に関する業務の委託事業（学校施

設消毒業務、コロナワクチン接種会場屋外整理業務など)が終了したこと等が影響し、前年度の契約金額及び就業延人員実績を下回ることとなりました。

派遣業務については、コロナ禍で労働力の需給バランスが変化し、民間企業の事業縮小や人員整理等の影響を受け、主に製造業や放課後児童クラブなどの求人が減少し、契約金額・就業延人員・就業実人員ともに、初めて対前年比を下回ることとなりました。

会員の活躍の場創出の創意工夫事業については、コロナウィルス感染防止対策のため、第2層生活支援コーディネーター業務、福祉有償運送事業や喫茶事業等の実績が伸びましたが、介護保険事業については、昨年同期を上回る前年対比 5,463 千円の増加となりました。また、福祉作業所も同様に前年度対比 834 千円の増加となりました。

就業の質の向上については、コロナウィルス感染防止対策のために対面式研修会は中止し、書面資料研修として、職域毎の事故・トラブル事例を活用し配布しました。

【魅せる広報活動を進める】

昨年度に引き続き、コロナウィルスによる緊急事態宣言を受け、元気なシルバー会員の活躍の場として取り組んでいた「魅せる広報活動」が軒並み中止、延期となってしまいましたが、その様な状況下、8月には『シルバー夏フェス』を開催し設立40周年記念映画「門真市ゾンビ人材センター」の上映を実施しました。年度の後半は、徹底した感染防止対策を実施しながら、徐々にウイズコロナの普及啓発活動を試行いたしました。

【安全就業・健康維持を推進する】

8・10・11・2月に安全適正部会だよりを発行し、11月には自転車安全講習を書面にて実施しました。12月には「安まちアプリ」の普及を図ることで安全就業を啓発しました。なお、残念ながら、就業途上に傷害事故が3件、賠償事故が1件、それぞれ発生しました。

また、健康生活アンケートを全会員に対し実施し691名の方からの回答を得ました。この内容を分析した結果、特に70歳以上のセンター会員は活動能力・主観的健康感が共に全国平均を大きく上回っており、センターの活動が高齢者の方々の健康福祉に大きく貢献するものであることを確認できました。

【公益社団法人として統治・管理を強化する】

例年、多くの会員様にご参集いただいております定時総会ですが、本年は緊急事態宣言下で、会場が閉館となったことから、当センター会議室にて少数限定での開催となりました。

理事会につきましたは、5回開催し、審議案件24件(内1件継続審議)、承認案件4件、報告案件25件を提案し可決承認いただきました。

監査につきましては、上半期の中間監査、年度末の監査を受け、監事より法令に違反する事案や各諸帳票の確認をしていただきました。また、大阪府の公益認定等委員会の立入検査を受けましたが、法令に違反するような重大な事案がない旨の確認をいただきました。

数値目標及び事業実績結果

事業運営方針に基づき、令和3年度の数値目標を以下に設定し、必達を目指しました。

1. 正会員数

	令和3年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和2年度 (実績)
正会員数 (人)	1, 800	1, 605	1, 656
【内】新入会者	250	191	171

2. 契約件数

	令和3年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和2年度 (実績)
受託事業 (件)	4, 800	4, 502	4, 340
派遣事業 (件)	500	300	445

3. 契約金額

	令和3年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和2年度 (実績)
受託事業 (千円)	400, 000	377, 906	386, 681
派遣事業 (千円)	320, 000	282, 617	292, 391

4. 就業率 (請負+派遣)

	令和3年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和2年度 (実績)
就業率 (%)	90.0	93.6	91.2

5. 就業実人員

	令和3年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和2年度 (実績)
受託事業 (人)	1, 300	1, 222	1, 211
派遣事業 (人)	500	435	446

6. 就業延人員

	令和3年度 (目標)	令和3年度 (実績)	令和2年度 (実績)
受託事業 (人)	120, 000	110, 960	111, 933
派遣事業 (人)	60, 000	54, 944	55, 647

具体的に実施した事業

【1】会員数を増やす

(1) 入会促進

1、入会説明会の開催

- ・感染症の影響を受け実施できない日程がありましたが、入会説明会をセンター会議室、弁天池公園管理事務所、市民プラザの3か所で実施しました。

(四半期ごとの入会説明会参加者)

参加者数 (人)	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和3年度各期目標	85	70	85	50	290
令和3年度実績	52	47	86	48	233

2、新入会員研修会及び体験就業の実施

- ・入会説明会に参加され入会を希望された方に対し、当センターの組織・運営・規約を知った頂くための新入会員研修会を開催するとともに入会后直ぐに就業についていただくための体験就業を実施しました。

(四半期ごとの参加者)

参加会員数 (人)	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和3年度各期目標	70	70	70	40	250
令和3年度実績	42	33	71	45	191

3、多種多様な年齢層へのアプローチ

- ・新入会員獲得のためシルバー便利やDay (月2回) に合わせ市役所ロビー、イオン古川橋店内で普及啓発部会による事業のPR活動を実施しました。
- ・女性活躍委員会では女性会員獲得及びPR活動の為、ケーキ作りやれんこん料理等の講習会を行いました。

4、口コミによる入会活動

- ・10月より2月までの間、新入会員紹介キャンペーンを開始しました。期間中合計8名の新入会員の紹介がありました。

【2】就業機会を拡大する

(1) 生きがい就業の推進

1、受託事業

- ・コロナ不況対策として、各担当者の積極的なお客様訪問、請求書へのPRチラシ同封など就業機会の拡大に努めました。
- ・団地の一斉清掃・駅前の水洗い清掃・茨田堤周辺清掃などを企画し、各地域にて未就業・高齢の方にも就業機会を提供しました。
- ・広報班、公共班等において業務確認・事務作業を行なうコーディネーター会員を設置し、サービス向上・業務の質的向上を図りました。
- ・お客様アンケートを実施し、業務の質的向上を図ると共に、既存顧客とのコミュニケーションを深め追加発注を獲得しました。

受託事業契約金額 (千円)

(四半期ごとの目標)	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和3年度各期目標	91,000	102,000	114,000	93,000	400,000
令和3年度実績	96,626	96,347	100,892	84,041	377,906

2、労働者派遣事業

- ・コロナ不況対策として、得意先開拓のための新規訪問及び既存顧客への定期訪問による深耕を継続的に実施し、就業機会の拡大に努めました。
- ・同一労働・同一賃金の調査票をお客様より取得し、均衡・均等待遇に対応しています。
- ・最低賃金の大幅な上昇に対応し、派遣契約を更新しました。

派遣契約金額（千円）

(四半期ごとの目標)	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和3年度各期目標	77,000	80,000	83,000	80,000	320,000
令和3年度実績	72,634	70,770	72,039	67,174	282,617

3、創意工夫事業

- ・現在センターで活動している施設をより有効活用し、新たな創意工夫事業を創出し、強化に努めました。

①訪問介護事業、総合支援事業

福祉事業の核となる事業とするため、介護初任者研修を終了した人材を広く募集し会員として訪問介護・総合支援事業に従事するよう努めました。

創意工夫事業契約金額（千円）

	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和3年度各期目標	4,000	4,000	4,000	4,000	16,000
令和3年度実績	4,455	5,242	5,072	4,661	19,430

②第2層生活支援コーディネーター業務

門真市及び第1層生活支援事業者と連携し巣ごもりの方に外出を促す独自の通いの場として、地域出張型サロンを開催し地域交流の拡大に努めました。また、利用者のニーズに応じた通いの場（介護予防体操や憩いの場や相談の窓口）としての事業に努めています。

通いの場の数（箇所）

	目標	令和3年度実績
令和3年度	15	14

③福祉有償運送事業

要介護や障がい等で外出困難者の支援の為、福祉有償運送事業を継続して実施しました。

福祉有償運送事業収入金額（千円）

	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和3年度各期目標	400	400	500	600	1,900
令和3年度実績	438	403	787	434	2,062

④福祉作業所事業

就業を希望するが、体力に自信がない方やスムーズな歩行が困難な方、またスケジューリングに制限がある方に対し、会員として就業の機会を図りました。

福祉作業所事業収入金額（千円）

	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和3年度各期目標	250	345	370	395	1,360
令和3年度実績	446	428	811	455	2,140

⑤喫茶事業

空き店舗を利用した高齢者が集うことが出来る喫茶事業を引き続き実施しました。また、会員の手作り作品や地域の農作物を販売しました。地域の交流スペースとしての活用は感染症の影響があり活用が進みませんでした。

喫茶事業収入金額（千円）

	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和3年度各期目標	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000
令和3年度実績	560	811	858	772	3,028

⑥農園、農業事業

市の協力を基に、現在の柳田町・岸和田の市内2か所のシルバー市民農園事業運営を継続するとともに、伝統野菜「門真蓮根」を通じ事業の啓発活動に努めました。

農園・農業事業収入金額（千円）

	第1期	第2期	第3期	第4期	合計
令和3年度各期目標	250	40	600	400	1290
令和3年度実績	97	13	55	244	409

⑦指定管理事業

センターの管理施設「弁天池公園」を、市民の交流スペースとして安全・安心を徹底し、市民から愛される公園として引き続き適正管理に努めました。弁天池公園でのイベント、「スプリングカーニバル」「ふれ愛感謝祭」は感染症拡大を考慮し中止を決定しました。

(2) 質の向上

1、講習会研修会の開催

- ・大阪府シルバー人材センター協議会河北ブロック地区主催の技能講習（植木剪定講習会）については、コロナウィルス感染防止のため、実施を見合わせました。
- ・除草班・リサイクルプラザ選別処理・介護班・早朝受入管理業務の職種別適正就業特別研修会を開催しましたが、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置発令のため、多くの職域班の研修会が延期となりました。業務主任者の現場訪問・資料作成を通じ個別の職域班・業務において就業の質の向上・安全確保・トラブル防止を図りました。
- ・新たに派遣労働を開始する会員90名に対し、入職時訓練を実施しました。
- ・一定期間派遣労働を継続している会員154名に対し、キャリアアップ教育訓練を実施しました。
- ・月に一回ヘルパー向け講習会を実施しました。10月には『調理実習の献立決め。グループワーク』について研修会を実施し、17名の会員が参加しました。11月には調理実習『簡単で早い調理方法』について研修会を実施し、22名の会員が参加しました。12月には『メンタルヘルス問題、個人情報、プライバシー問題の人権』について研修会を実施し、21名の会員が参加しました。

2、利便性の向上

- ・事務局通信を通じホームページに毎月更新される就業情報の掲載を継続しました。また、シルバーアプリの構築については、システム会社との協議を行いました。次年度『利用者向けデジタル活用支援推進事業』を実施するための準備を整えました。

【3】魅せる広報活動を進める

(1) イベント関係

感染症防止対策の影響を受け実施できない日程がありましたが、コロナ禍でのイベント開催指針を策定し、安全・安心な開催を目指します。

1、独自イベントの開催

- ・コロナウイルス感染防止対策の影響を受け、毎年定期的に行っていた弁天池公園での「スプリングカーニバル」「ふれ愛感謝祭」は中止を決定しました。
- ・シルバー便利やDayをセンター事務所前にて毎月2回開催しました。

2、他団体との協働

- ・門真市民プラザで行う「プラザ de 門真もん市」は、コロナウイルス感染防止対策の影響を受け、中止しておりましたが、感染の拡大が落ち着いた時期に試行を試みました。
- ・「ふるさと門真まつり」の開催を予定しておりましたが、コロナウイルス感染拡大防止対策の影響を受け、中止となりました。

(2) ボランティア活動

1、清掃ボランティア活動

- ・感染症防止対策の影響を受け実施できない日程がありましたが、弁天池公園清掃（毎月第1土曜日）、市内清掃（毎月第3土曜日）を清掃ボランティア活動として実施しました。

2、協賛によるボランティア活動（今年度現在未実施）

- ・センターの魅力を発信するため、市外で開催するボランティア活動の参加に努めます。「東京オリンピック聖火リレー」や「大阪マラソン」に係るボランティア活動はコロナ感染症拡大の影響を受け中止となりました。

(3) 魅せる広報活動

1、広報活動

- ・門真市の活性化を担う活動に協賛し、センターの動員力を活かし魅せる広報活動に努めました。コロナ禍で延期されていた設立40周年記念行事の『歩こう会』同好会によるウォーキングイベントを11月に、『将棋同好会』によるイベントを12月にそれぞれ実施しました。

2、機関紙やマスメディアの活用

- ・ゾンビ映画制作の情報は、読売テレビ『情報 ten』・TBS『スーパーJチャンネル』・関西テレビ『よ〜いドン』等のテレビや産経新聞・朝日新聞・読売新聞、ラジオ等でも紹介されました。また、シルバー人材センターの業界誌『月刊シルバー人材センター』や全国シルバー人材センター事業協会の『ニュースレター創刊号』にも紹介されました。
- ・センターが栽培する『門真れんこん』と『レンコンもち』がテレビ大阪の『発見！食遺産』で放映されました。
- ・週刊大阪日日新聞に年間6回の記事広告を掲載し、会員の活躍を広報しました。

3、設立40周年記念誌

- ・記念映画や市長と理事長の対談等を収録した40周年を記念する記念誌DVDを製作し、報道機関や関係団体、全会員に配布しました。

【4】安全就業・健康維持を推進する

(1) 安全就業の推進【事故0のために】

1、作業手順のマニュアル化

- ・門真警察署の協力を得て交通専従業務の安全マニュアルを完成させ、従事者に周知徹底しました。

2、安全講習会及び講習会の開催

- ・マンション清掃など一人で行う作業の安全パトロール（6カ所）を実施し、安全就業の啓蒙に努めました。
- ・自転車安全運転の啓発活動を書面研修にて実施しました。
- ・門真警察署の依頼により、安まちアプリの普及に努めました。
- ・安全意識向上のため、安全標語を公募・選考し、周知徹底を図りました。

(2) 自己健康管理、健康診断の推進

1、会員健康維持の取り組み

- ・研修会での啓発により健康診断の受診を推奨しました。
- ・健康生活アンケートを実施し、691名の方より回答をいただきました。また、一般の市民と比較したセンター会員の健康度を分析し、その良好な結果を周知しました。

2、福利厚生の充実

- ・同好会活動を事務局通信等に掲載し、広く周知するとともに、協同しての事業を実施する等支援しました。

【5】公益社団法人として統治・管理を強化する

(1) 法人運営

1、コンプライアンスの徹底

- ・法令及び定款、諸規定に従い法人の活動状況を事務局通信等に掲載し、広く周知し事業の充実を図りました。
- ・令和3年11月16日に監査を受け、会計基準に基づいた適正な会計処理に努めました。
- ・令和3年11月11日に大阪府公益認定等委員会の立ち入り検査を受け、法令に違反する事案がない旨の確認を受けました。
- ・監査につきましては、令和3年11月16日に上半期の間接監査、令和4年5月6日には令和3年度の監査を受け、監事より法令に違反する事案や各諸帳票の確認をしていただきました。

2、適正就業の推進

- ・適正就業特別研修会（書面）を開催し、内容を全会員1,605名に周知徹底しました。

(2) 組織・運営体制の強化

- ・定時総会に3件の議決案件及び4件の報告案件を上程し可決承認を得ました。
- ・理事会、三役部会長会議を中心にした運営体制につとめ、24件の審議案件及び4件の承認案件を可決承認しました。報告案件として25件を報告しました。

① 地域班

地域班ブロック長会議を開催し、現在の4ブロック17地域班体制を門真市立中学校地域割りの6班体制への変更について協議しました。

② 職域班

事務局との密接なコミュニケーションにより、柔軟に対応しました。